

令和2年9月1日

文部科学大臣
萩生田光一殿

SHOSAKU 事務所代表
1級FP技能士 花房尚作
E-mail : info@sho39.com

「学びの継続」のための『学生支援緊急給付金』についての要望書

標記の件につきまして、現実的な対処をしていただきたく、下記のとおり、お願い申し上げます。

記

突然のお手紙で失礼いたします。私は鹿児島県と宮崎県を中心にFP相談やセミナー講演、執筆などの業務を請け負っております。主に低所得者の方々が豊かな生活を送れるような支援を行っており、可能な限りボランティアで様々な相談をお受けしております。

先日ですが、新型コロナウイルス感染症の影響により収入が激減した方のFP相談をお受けしました。その方はフリーランスの仕事しながら、放送大学の大学院に所属しております。2020年は修士の2年生で修士号の取得を目指して頑張っていました。しかし新型コロナウイルス感染症の影響で、2月以降のお仕事が次々にキャンセルになり、それ以降はまともな仕事がなくなりました。ついには学業を続けられなくなり、現在は休学をしております。なんとか学業を続けたいとの思いから、学生支援緊急給付金の申請をしていましたが、一次審査、二次審査ともに給付できないむねのお便りが放送大学から届いたそうです。

その方曰く、「現実的にこのまま退学の道しかなく、とても残念だ」とおっしゃっていました。入学試験の対策のため、夜もほとんど眠らず勉強したそうです。仕事がお忙しいなかで、必死になって単位もとってきたそうです。乏しい資金をやりくりして修士

論文を作成するため研究も進めてきたそうです。それでも学業を続けられなくなるその無念さは、言葉に出来ない程の悔しさです。

人は学ぶことで文明をつくりあげてきた筈です。人は学ぶことで平和をつくりあげてきた筈です。新型コロナウイルス感染症の影響により学びの継続が閉ざされてしまうのはとても残念です。

私としては「どうして学びを継続したい人をすべて助けてあげないのか」といった疑念が強くあります。学生支援緊急給付金は、その他の給付金に比べて金額が小さく、たかだか10万円か20万円です。そのたかだか10万円か20万円の給付もできないとはおかしい話です。所属大学に給付申請をするので不正ありません。それにもかかわらず、どうして給付を渋るのでしょうか。

新型コロナウイルス感染症の影響で、仕事をしたくても仕事がないといった現実を踏まえて、少しでも多くの人を救うよう、今からでも第三次審査の募集をお願いできないでしょうか。大人になってからも一生涯を通じて学びを積み重ねて行くような崇高な意思を挫かないよう、未熟者ではございますが、そのようなことを心の底から要望させていただきます。

以上。